

「自然体験活動指導者（NEALリーダー）養成事業」

1. 趣旨

ボランティア養成セミナーの受講者向けのスキルアップ講習として、楽しく安全な活動を指導するための自然体験活動指導者（NEALリーダー）を養成する。

2. 事業の概要

(1) 期日

令和6年6月29日（土）～6月30日（日）【1泊2日】

(2) 参加者

①参加対象 高校生以上

②参加人数 21名

③参加者の内訳 高校生7名、大学生9名、社会人5名

3. 企画運営のポイント

(1) 参加者の確保を図るため、ボランティア活動や自然体験活動への活動意欲に溢れているボランティア養成セミナー直後に開催した。

(2) ボランティア養成セミナーからのスキルアップという位置づけで、指導者として必要な知識や技能を座学だけではなく、実践を通して学べるようにプログラムデザインをした。

(3) 主体的な学びの場を提供するために、講義・演習において参加者同士の交流を深める仕掛けや、相互学習する時間を意図的に設けた。

4. 日程

	午 前	午 後	夜
6月29日 (土)	開講式 説明「NEAL制度ガイド ンス」 講師：当施設職員 中谷 仁 演習①「アイスブレイク」 講師：当施設職員 中谷 仁	講義①「対象者理解」 講師：大東文化大学 教授 中村 正雄 氏 講義②「自然体験活動の 指導」 講師：大東文化大学 教授 中村 正雄 氏 講義③「自然体験活動の 技術」 講師：当施設職員 中谷 仁	演習②「野外炊事」 講師：当施設職員 中谷 仁
6月30日 (日)	演習③「赤城山自然散策」 講師：当施設職員 中山 太平	説明「NEAL制度ガイド ンス」 講師：当所職員 中谷 仁 認定試験 閉会行事	

5. 主な活動内容



演習①「アイスブレイク」



講義①「対象者理解」



講義②「自然体験活動の指導」



演習②「野外炊事」



演習③「赤城山散策」



演習③「赤城山散策」

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足20名(95%)、やや満足1名(5%)

(2) 参加者の声

- 指導する立場になった際に、目的(ねらい)に沿えるようアクティビティを選択したい。
- 2日間を通して、自然体験活動の知識・スキルを深め、実践的な力がついた。
- 自然の良さを伝えることの大切さと難しさが理解できた。
- 技能と知識がどちらも身に付く内容であった。
- 赤城山特有の植物を見て学び、改めて自然の中で活動する楽しさを実感できた。

(3) 成果

- 知識習得のための講義と技能習得のための実習を効果的に組み合わせることから高い満足度につながった。
- 赤城山散策を取り入れたことで、標高が高い土地特有の植生や自然の壮大さを肌で感じる機会を設けることができた。また、楽しい活動の中にも発見や気づきを得ることができた機会となった。

(4) 課題

- 本事業は、規定のカリキュラムを履修する必要があることから、ボランティア養成セミナー(1泊2日)と、本事業に参加する必要がある。そのため、より多くの指導者を養成するためにもNEALリーダー養成事業を単独で2泊3日の日程でも実施するなど検討が必要である。

担当：中谷 仁